



# 危機管理

事故・災害やテロが発生した際は、非常体制のもと、速やかに対応処置を行います。また、地域防災ネットワークによる横断的な応援体制を整備し、同時多発的な事態にも柔軟に対応します。

## 事故発生時の非常体制の確立

### 地域防災ネットワークによる横断的な応援体制

地域防災ネットワークは、同時多発的な事故・災害やテロに対して、駅係員や乗務員のほか、技術部門の現業社員が横断的な応援体制を築き、お客様の避難誘導、応急救護等を円滑に行えるよう12の地域に組織化したものです。

### 行政等と連携した訓練

毎年、地域防災ネットワークごとに、現地対策本部の設置・運営、お客様の避難誘導、応急救護等の訓練を実施しています。また、自治体の防災訓練への積極的な参加や、地域住民、消防署、警察署、他の交通機関等と連携した訓練等も行っています。



対策本部設置・運営訓練

### 対策本部設置・運営訓練

毎年、防災週間に合わせて、役員及び社員が参加して、万一の事故や災害発生時に、迅速かつ適切に対応できるよう、非常体制の整備と対策本部の設置・運営の訓練を実施しています。

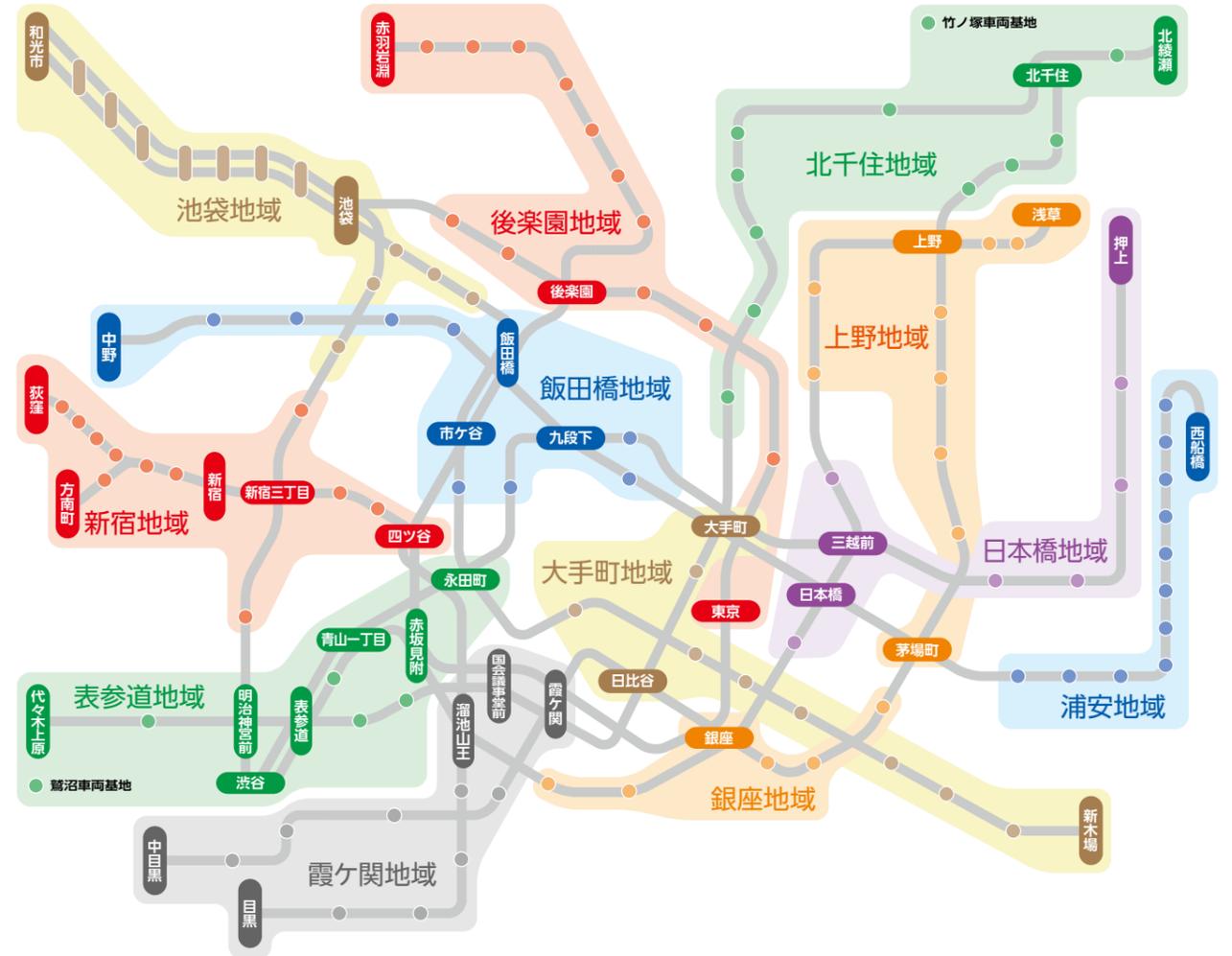
### 異常時総合想定訓練

毎年、役員及び社員並びに東京消防庁が参加して、お客様の避難誘導、応急救護等適切な対応がとれるように訓練を実施しています。2017年度は、「駅間走行中、車両故障により発煙した」と想定し、日本橋地域を中心に訓練を実施しました。



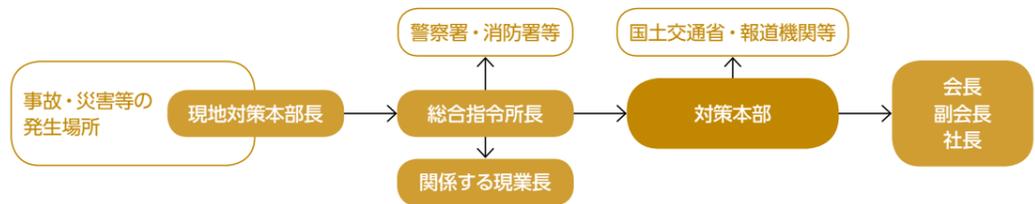
異常時総合想定訓練

●地域防災ネットワークの12地域のイメージ



危機管理

## 対策本部が設置された場合の情報伝達系統



●非常体制の種別と発令基準 事故・災害等を大きく3種に分けて、非常体制の発令の基準を定めています。

#### 第1種非常体制

主な発令基準

- 鉄道運転事故が発生し、死亡者や多数の負傷者が生じた
- 大規模な災害が発生した
- 重大な不測の異常事態が発生した、または発生するおそれがある

事故・災害等  
対策本部長

社長

#### 第2種非常体制

主な発令基準

- 鉄道運転事故が発生した
- 自然災害による大きな被害が発生した
- 地域住民、路面交通等に大きな支障を及ぼした
- 不測の異常事態が発生した

事故・災害等  
対策本部長

鉄道本部長又は  
安全・技術部長

#### 第3種非常体制

主な発令基準

- 暴風警報、大雨警報、洪水警報が発令された
- 自然災害により被害が発生するおそれがある
- 不測の異常事態が発生するおそれがある
- 警察等から警備の要請があった

事故・災害等  
対策本部長

総合指令所長又は  
安全・技術部長

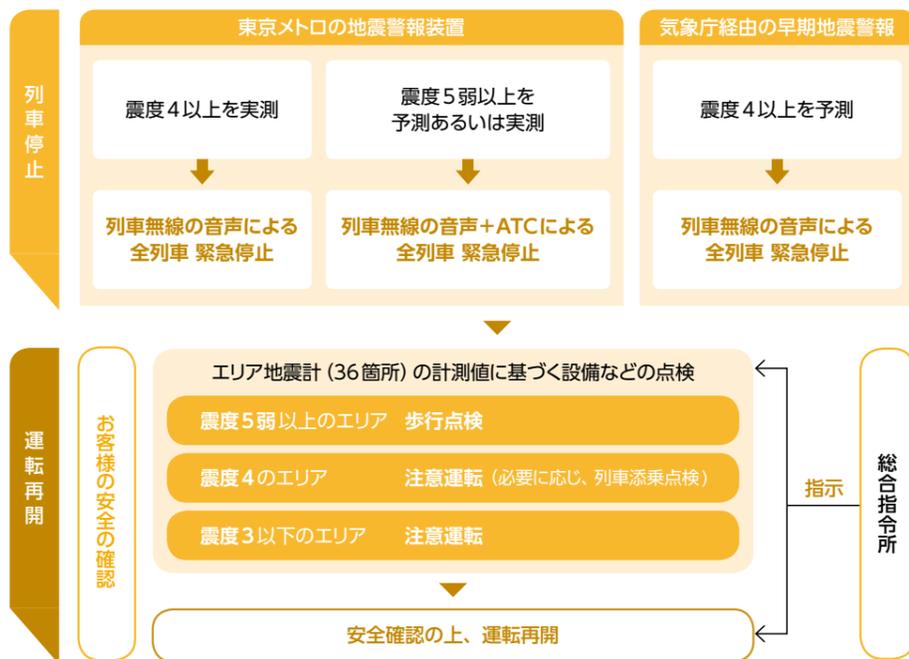
# 防災対策

災害の被害拡大防止や早期復旧のための仕組みを整備しています。

## 震災対策

地震発生時には、東京メトロの沿線6箇所に設置した地震計から、総合指令所の情報表示装置に地震警報が表示され、直ちに地震の大きさに応じた運転規制を行います。あわせて気象庁から発信される緊急地震速報を活用した早期地震警報システムの運用を行っています。

### ●地震発生時のプロセス



### ■帰宅困難者対策

地震発生時には、お客様を駅構内の安全な場所にご案内し、一時的にお待ちいただくこととしており、対応マニュアルも整備しています。また、備蓄品として飲料水やアルミブランケット、簡易マット、携帯トイレ等を配備しています。



携帯用トイレ、簡易マット10万人分などを配備

### ■早期運行再開に向けた耐震補強

首都直下型地震等の発生時における早期運行再開を実現するため、従来施工不要と判定されていた高架橋の柱及び石積み擁壁の耐震補強工事を実施しています。



高架橋耐震補強(落橋防止、柱補強)

石積み擁壁

### ■お客様の情報収集

大規模災害が発生した際に、東京メトロが管理する全駅に設置されている改札口ディスプレイにNHKが放映する非常災害時緊急放送を放映し、災害に関する情報を迅速にお伝えすることにより、お客様の情報収集にご活用いただけるよう運用しています。また、全線で携帯電話を利用いただけるよう環境整備を行い、事故・災害発生時などの非常時に列車内やトンネル内でもお客様による情報収集が可能となっています。



災害時緊急放送(イメージ図)

## 浸水・強風対策

近年の都市部に頻発する大雨に対応するため、より精度の高い情報を短時間で入手する気象情報オンラインシステムを導入しています。風の強い湾岸部や橋りようには風速計を設置し、風速に応じた運転規制を行います。また、大規模浸水対策については、出入口への対策に注力するほか、換気口への新型浸水防止機の設置・更新や坑口(トンネルの出入口部分)における対策の強化等をさらに進めています。

### ●風速の監視



総合指令所内の風速監視装置

### ●浸水防止対策

- 駅出入口の止水板**  
水の流入を防止しながら避難のため人が乗り越えることのできる止水板。
- 浸水防止機**  
道路面の換気口からの浸水を防ぐ浸水防止機。水深6mの水圧にも対応。
- 防水ゲート**  
トンネルの断面を閉鎖することができる防水ゲートを設置。
- 海拔表示**  
お客様に日頃から水害発生時の行動を意識していただくため、駅出入口に海拔を表示。
- 防水扉**  
出入口全体を閉鎖できる防水扉を設置。
- 完全防水型の出入口**  
周囲を強化ガラスで覆い、前面をスチール扉で閉扉することで、想定浸水深2m以上に対応。
- 出入口かさ上げ**  
歩道より高い位置にかさ上げしています。

## 火災対策

2004年に改正された火災対策基準に基づき、火災対策設備等の整備を進め、整備対象である52駅全ての駅での整備が完了しています。

## 鉄道テロ対策

テロ行為や駅構内の犯罪に備えて、警戒・警備を実施しています。全駅にセキュリティカメラを設置し、監視体制の強化を図るなど、様々な警備体制の強化を図っています。



駅設置のセキュリティカメラ



中身の見えるゴミ箱